

井上康文 （あきよし） 詩人。明治二十年六月、二十日神奈川縣生れ、昭和四十八年四月十八日歿（二八七—一九七三）。本名康治 （あきやす）。筆名白高駿一。東京薬学学校卒。製薬工場職工、東京市技手、雑誌『新小説』記者、『報知新聞』運動部勤務を経て富田本社總務など。傍ら大正七年福田止夫等と雑誌『民衆』を創刊した他、十年『新詩人』を、昭和二年には『詩集』を創刊編輯。

著書『童謡・民謡・詩のつくり方』（福田止夫共著、大正十一年十一月十五日大同館）、詩集『上へ祈る』（大正十一年十一月一日抒情詩社）、『現代の詩史と詩講話』（大正十五年一月、千日文藝社）、『新ら詩及詩人としての變遷』（増補改訂版、昭和八年四月六日交蘭社）、『横濱競馬の備へて一附・文馬を探る』（昭和十五年四月、二十七日日刊、二香社）、『山の隨筆』（昭和十七年八月、二十日二香書院）、『獨楳われら—青年朗吟詩集』（合著・詩人同志會編、昭和十八年八月十五日旺文社）、『隨筆』、『水兵の眼』（昭和十九年二月、二十日文園社）、『農士日本詩集』（合著・松村又一編、昭和十九年七月、二十日秋原宏文堂、彰考書院創設事務所）、詩集『山上の蝶』（昭和二十一年五月十五日寺本書房）、詞集『人體頌歌』（合著・思地孝四郎編、昭和二十二年六月、二十日鳳文書林）等。



文献、井上康文の詩碑を建設する會記念誌編集委員
會編『詩人・井上康文』（昭和五十五年六月一日神奈川・井上康文の詩碑を建てる會）等。